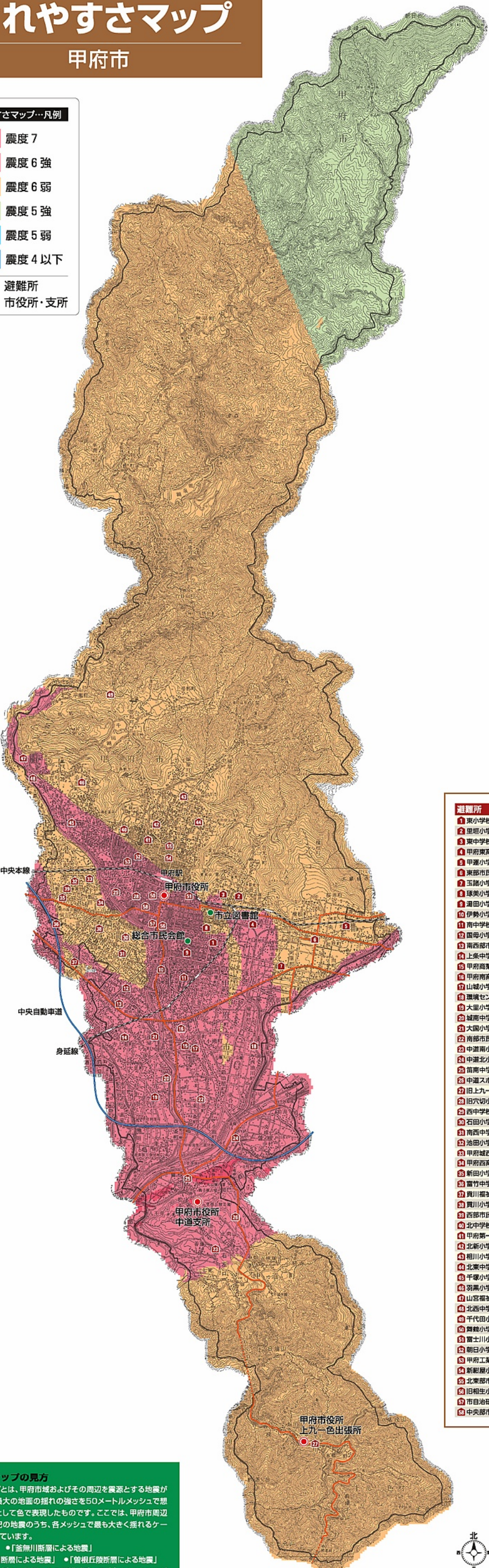


地震ハザードマップ 揺れやすさマップ

甲府市

揺れやすさマップ…凡例

- 震度 7
- 震度 6 強
- 震度 6 弱
- 震度 5 強
- 震度 5 弱
- 震度 4 以下
- 避難所
- 市役所・支所



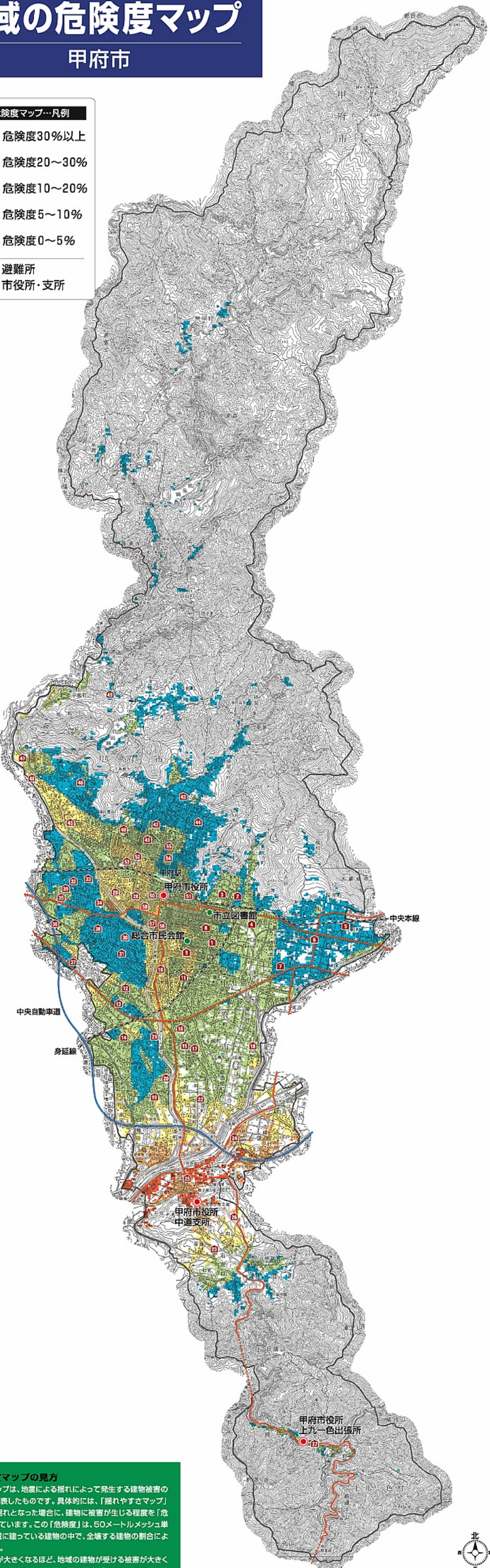
揺れやすさマップの見方
揺れやすさマップとは、甲府市域およびその周辺を震源とする地震が発生した場合の最大の地面の揺れの強さを50メートルメッシュで想定し、「震度階」として色で表現したものです。ここでは、甲府市周辺で想定される下記の地震のうち、各メッシュで最も大きく揺れるケースを合成して示しています。
●「東海地震」 ●「釜無川断層による地震」
●「藤の木梨川断層による地震」 ●「釜無川断層による地震」
地震による地面の揺れは震源からの距離が近いほど大きくなりますが、表層地盤によっても大きく異なり、地盤が軟らかい場所は、硬い場所にくらべ揺れは大きくなります。

地震ハザードマップ 地域の危険度マップ

甲府市

地域の危険度マップ…凡例

- 危険度30%以上
- 危険度20～30%
- 危険度10～20%
- 危険度5～10%
- 危険度0～5%
- 避難所
- 市役所・支所



地域の危険度マップの見方
地域の危険度マップは、地震による揺れによって発生する建物被害の分布を、相対的に表したものです。具体的には、「揺れやすさマップ」で示した強さの揺れとなった場合に、建物に被害が生じる程度を「危険度」として表しています。この「危険度」は、50メートルメッシュ単位で分割した地域に建っている建物の中で、全壊する建物の割合により設定しています。
危険度の数値が大きくなるほど、地域の建物を受ける被害が大きくなります。特に古い木造建物は地震に弱い傾向がありますので、危険度が低い地域であっても十分な対策が必要です。耐震診断を受け、必要に応じて耐震補強を行って下さい。